

～今年はどうな年だった～

平成30年(2018年)県政おもなできごと in 南信州

リニア新時代を見据え、南信州地域の更なる発展を目指して、広域観光の推進、移住・定住の促進など地域課題の解決に向けた取組みを積極的に進めてきました。

この一年を振り返り、当地域のおもなできごと20項目をまとめました。

【凡例】

★ 10大ニュース (おもなできごと20項目の中から選定しました。)

○しあわせ信州創造プラン2.0「南信州地域計画」のめざす姿に従って4つに分類し、表示してあります。

産業 地域の潜在力を活かした**産業**が躍進する南信州

人と地域 豊かな自然・文化と共生し、**人と地域**が輝く南信州

安心・安全 **安心・安全**な暮らしが実現できる南信州

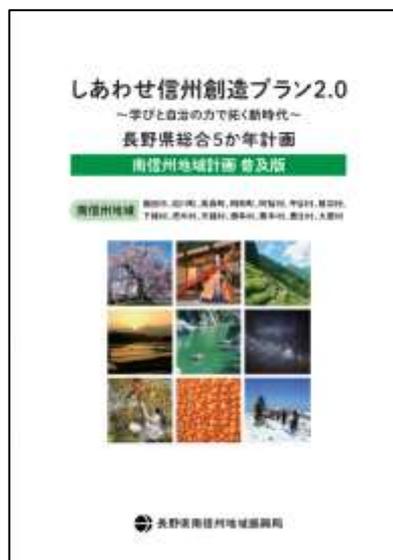
県政全般 県政全般に関すること

通年

しあわせ信州創造プラン2.0「南信州地域計画」がスタート!【全機関】



県政全般



2018年から2022年までを計画期間とする しあわせ信州創造プラン2.0「南信州地域計画」が、4月にスタートしました。

『伝統と最先端が響き合う「リニア新時代」のフロンティア～南信州～』をスローガンに、リニア中央新幹線の開業や三遠南信自動車道の開通を見据えた地域の「めざす姿」や、その実現に向けた地域重点政策・達成目標を掲げました。

地域振興局をはじめとする県の現地機関では、航空機産業など成長期待分野の振興や人材の確保・育成、シードル等を活用した広域観光の推進、移住・定住の促進、伝統芸能の保存・継承支援など、計画の実現に向けた様々な取組を展開しています。

南信州地域振興局 総務管理課 総務係
(課長) 奥原 淳夫 (担当) 三輪 修
小林 清二
電話 0265-53-0400 F A X 0265-53-0475
E-mail minamichi-somu@pref.nagano.lg.jp

飯田保健福祉事務所 総務課 総務係
(課長) 田村 浩志 (担当) 中山 博
電話 0265-53-0442 F A X 0265-53-0469
E-mail iidaho-somu@pref.nagano.lg.jp

南信州農業改良普及センター
(所長) 神通川 洋一 (担当) 堀 澄人
電話 0265-53-0436 F A X 0265-53-1629
E-mail minami-aec@pref.nagano.lg.jp

飯田建設事務所 総務課 総務係
(課長) 松橋 良成 (担当) 宮島 俊
電話 0265-53-0448 F A X 0265-23-1669
E-mail iidaken-somu@pref.nagano.lg.jp



【飯田線秘境駅号おもてなしイベント】



【Instagramへの投稿呼びかけカード】

南信州地域の観光地域づくりを推進するため、観光戦略の検討に必要な観光客満足度調査の実施など、地域連携DMOの設立に向けた支援を進めました。

また、信州アフターデスティネーションキャンペーンでは、JR飯田線の利用促進のためのPRのほか、シードル等の観光資源を活用した誘客促進、Instagramを通じた情報発信など、観光地域づくりに向けたさまざまな取組を進めました。

月	内 容
4・7・10・11	飯田線秘境駅号おもてなしイベント
7～9	信州アフターデスティネーションキャンペーン ・JR飯田線利用促進パンフレットのリニューアル ・JR尾張一宮駅での観光PR展
7～	Instagramへの投稿を呼びかけるカードの配布
7～11	「長野県は宇宙県」スタンプラリー及び星景写真展
9～12	「道の駅をめぐる食のスタンプラリー」の開催
11	シードルソムリエなりきり体験モニターツアー



【南信州移住セミナー地元女子との女子会】



【企業担当者向けスキルアップセミナー】

南信州地域への移住・定住、U・Iターン・地元就職を促進するため、地域振興局・南信州広域連合・市町村で構成する「南信州暮らし」応援隊が、南信州移住セミナーを5回開催。133人に参加いただきました。平成28年からのセミナーの開催で、これまでに8の方が移住されるなどの成果が挙がっています。

3月には、南信州地域の産業情報やU・Iターン経験者の体験談等をまとめたガイドブック及び映像（DVD）を制作し、各種セミナー等で活用されています。

また、新たな取組みとして、高校生対象の「地元就職啓発セミナー」、大学と企業との「就職懇談会」を開催し、学生への情報提供の充実強化を図っています。

月	内 容
4・5・9・11	南信州移住セミナー【東京・名古屋】
6～12	高校生向けの地元就職啓発セミナー
6・12	保護者向け地元就職啓発セミナー
6	企業担当者向けスキルアップセミナー
8	大学生向け就活準備セミナー
10	南信州お試し移住体験ツアー
11	企業と大学との就職懇談会

1 月

南信州森林認証協議会が森林管理認証を取得！【地域振興局】

産 業

【東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会】
木材エンブレム記念楯の受贈式

【東京スカイツリーでのPR】

売木村、天龍村、飯田市上郷野底山財産区、飯伊森林組合からなる森林認証協議会が、環境保全への配慮や森林経営の持続性等に関する基準を満たしていると認められ、1月1日に「森林管理認証」を取得しました。平成29年に取得した根羽村 SFM 森林認証協議会と合わせ、認証森林は約1万 ha となり、根羽村、天龍村の森林認証材が東京オリンピック・パラリンピック競技大会選手村に提供されることも決定しています。

地域振興局では、森林の適正管理や「南信州の木」の一層のブランド化に向け、首都圏・中京圏等でのPR活動を展開しました。

1 月

南信州子ども応援プラットフォームを設置！【地域振興局】

安心・安全



【こどもカフェ Hug(松川町)】

学習支援や食事提供、悩み相談等の機能を有する、子どもの居場所「信州こどもカフェ」の普及を図ろうと、1月29日に管内で子どもの居場所を運営している団体、居場所づくりに関心のある個人、行政機関が集まって、「南信州子ども応援プラットフォーム」を設立しました。

今年は、信州こどもカフェを担う人材のスキルアップを図るために、研修会や活動見学会等を5回開催しました。

南信州地域では、現在5つの子ども食堂と、3つの学習支援教室が信州こどもカフェとして活動しています。

4 月

放置竹林の整備に向けた「竹取再生」の取組が進む！【地域振興局】

産 業



【天竜川鷲流峡復活プロジェクト】



【地元産メンマ「天竜いなちく」】

南信州地域の課題である放置竹林の整備や、竹資源の利活用を推進する「竹取再生」の取組として、4月に「天竜川鷲流峡復活プロジェクト」の講演会や竹林整備活動に係る支援策等についての説明会を開催しました。

また、6月には「おいしい記者會」で地元産メンマ「天竜いなちく」をPRするなど、地産地消や資源の循環活用促進への取組を進めました。

今後も「森林づくり県民税」等を活用しながら、南信州地域に「竹取再生」の環を広げていきます。

5～10 月

南信州農ある暮らし入門研修を開講！【地域振興局】

人と地域



【座学による研修】



【ねぎの定植作業】

南信州地域への移住、U・Iターン推進の新たな取組として、5月に「南信州農ある暮らし入門研修」を開講しました。

10月までの半年間、田舎への移住を検討中の県外在住者やU・Iターンして南信州地域で生活されている方々が、毎月1回2日間の日程で、野菜栽培や採れたて農産物の加工体験にチャレンジし、南信州の魅力と「農ある暮らし」を満喫していただきました。

今回の研修を契機として、参加された皆さんのこの地域への移住促進に大きな期待が寄せられています。

5~12月

建設系学科高校生が建設産業の魅力を体感！【建設事務所】

人と地域



【対空標示のペイント作業】

若者たちの次世代を担う建設技術者への就労を促進するため、産・学・官が一体となって取り組む「自分たちでつくろうプロジェクト」。飯田O I D E長姫高校の3年生、地元企業、建設事務所が連携して、増水時に上空からの位置確認などができる対空標示のペイントや、ランニングロードの一級河川松川への設置のほか、行政機関の職場体験を実施しました。

実践的な作業を体験した高校生たちが、将来の建設産業を担う技術者へと大きく成長してくれることに期待が寄せられています。

6月

長野県植樹祭を売木村で開催！【地域振興局】



産業



【植樹の様子】

南信州地域では12年ぶりとなる「ふるさとの森づくり県民の集い（長野県植樹祭）」を、売木村の南信州広域公園で開催しました。

県内各地から1000人を超える多くの皆様に参加いただき、カラマツを伐採・収穫した跡地にヒノキ苗木約4,500本を植栽し、植えて・育て・利用する「森林・林業のサイクル」を取り戻す機運が盛り上がりました。

6月

中山間総合整備事業高森地区で水源確保に向けた工事に着手！【地域振興局】

産業



観光農園の整備計画を有する高森町千早原地区。6月には地区の長年の夢であった水源確保に向けて、営農飲雑用水工事に着手し、7月からは周辺の道路工事が始まりました。工事が完成すると、営農用水、飲用水が確保されるとともに農作物輸送の効率化が図られます。また、大型バスが進入可能となることで、観光農園への集客促進に期待が大きく膨らみます。

6月

長野県就業促進・働き方改革戦略会議南信州地域会議を設置！【地域振興局】

産業



【第1回会議】

南信州地域の産業を担う人材の育成・確保及び働き方改革を推進するため、6月に「長野県就業促進・働き方改革戦略会議 南信州地域会議」を新たに設置しました。会議では、各機関の取組の課題について意見交換や、企業や高校・大学を対象としたアンケートを実施し、その結果を共有（9月）してまいりました。

この地域の10月の月間有効求人倍率は、1.58倍と依然として人手不足の状況が続いており、国・市町村・経済団体・労働団体等と連携して、人材確保に向けた取組を進めています。



安心・安全



【台風21号災害 天龍村】



【台風21号災害 大鹿村】

6月27日～7月8日の梅雨前線豪雨及び台風7号、9月から10月にかけての台風21号及び台風24号の度重なる豪雨により、南信州地域においても多大な被害が発生しました。なかでも、大鹿村では台風21号による災害が「激甚災害」に指定されました。

現在、国の災害復旧事業等を活用して、災害の復旧を進めているところです。

○災害復旧費用

(単位:千円)

月	区 分	農地・農業用施設	林 業	道路・河川
6 7	6月27日～7月8日の梅雨前線豪雨及び台風7号	15,826	167,748	449,305
9	台風21号	169,460	147,314	(1,205,076)
9 10	台風24号	25,495	150,922	(586,617)

※()内は見込額

県政全般



【飯田女子短期大学での選挙啓発】

任期満了に伴う「長野県知事選挙」が8月5日に執行されました。

選挙権年齢の満18歳以上への引き下げ後、初の県の選挙となり、若者の投票促進に向け、管内の高校等で学生へ呼びかけを行うとともに、新たな取組として、飯田市が飯田女子短期大学内に1日限定の出張型期日前投票所を開設しました。



安心・安全



【ウォーキング体験】



【阿南町 ふつとふつと体操】

働き盛り世代の健康づくりを推進するため、「ACEフォーラム in 南信州」を9月に開催しました。健康経営に関するセミナーや、ご当地体操、ウォーキングなどを体験したこのフォーラムには、管内の事業所、団体、市町村等から200名以上の皆さんに参加いただきました。

また、9月から3か月間実施された「ウォーキング大賞」には、この地域から17事業所85チームが参加。地域振興局長、保健福祉事務所長、建設事務所長の3人もチーム「リニアの街を歩き隊」としてエントリー、歩数を競い合いました。

今後、このような取組を管内事業所へ広く周知し、働き盛り世代の健康づくりを推進してまいります。

9～12月

地域特産ブランド「市田柿」を守るための緊急対応を実施！【地域振興局】



産業



【県公社による地権者説明会】

9月から11月にかけてのケフィア事業振興会グループ企業の相次ぐ破産により、離職者の発生や今秋の柿の収穫、今後の農地の行方に不安が広がりました。

このような状況を踏まえ、離職者については、ハローワークと連携し、企業との面接会を開催するなどして、管内在住者108人のうち24人が再就職することができました。(11月20日現在)

柿の収穫については、関係7市町村、JAみなみ信州、県農業開発公社（県農地中間管理機構）による「かぶちゃんファームへの貸付農地対策会議」で、協力を呼び掛けた結果、適期を迎えた柿の96%が収穫されました。

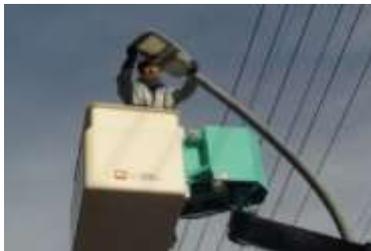
農地については、県公社が、破産管財人との協議を進めたり、地権者説明会（12月）などを行って、農家の皆さんの不安払拭に努めています。

今後も、市町村や農業団体等の関係機関と連携し、柿生産の新たな担い手を探すなど、南信州のブランド「市田柿」を守る取組を進めてまいります。

10月

平成30年度末の完了に向けて道路照明灯のLED化が進む！【建設事務所】

安心・安全



【道路照明灯のLED化工事】

道路維持管理経費の削減と、二酸化炭素の排出量削減による環境への負荷抑制を図るため、全県で道路照明灯のLED化が進められています。

飯田建設事務所では、今年10月からトンネル以外の照明灯の工事に着手し、平成30年度末までには、管内の約1,200灯全てのLED化が完了します。

10月

しあわせ信州移動知事室（南信州地域）の開催！

【地域振興局・保健福祉事務所・建設事務所】



県政全般



【県政ランチミーティング・よこね田んぼ】

阿部県政3期目では初となる「しあわせ信州移動知事室」が10月24日・25日の2日間、南信州地域で開催されました。

県政ランチミーティングでは、大鹿村観光関係者、よこね田んぼ保全委員会の皆さんと懇談。泰阜村で地域を支える活動を行っている皆様との懇談には、130人を超える地域の皆さんが集まっていたり、活発な意見交換が行われました。

このほか、松川町では社会参加を実践しているシニア世代との懇談や、喬木第二小学校でのICT活用教育や、「三遠南信自動車道・（仮称）天龍峡大橋」の現場を視察しました。



【喬木第二小学校の視察】

11 月

「南信州民俗芸能パートナー企業制度」に 18 社が登録！【地域振興局】



人と地域



【大鹿歌舞伎】



【ボランティア活動の様子】

民俗芸能団体の取組に協力・支援をしていただける「南信州民俗芸能パートナー企業」が、18 社増えて 52 社となりました。従業員の休暇取得への配慮や、会場整備のボランティアの派遣、さらには自動販売機の売り上げの一部の寄附など、さまざま形での支援をいただいています。

また、企業名を表示できる「ビブス」を製作し、ボランティアスタッフが着用することで、パートナー企業による支援を地元の皆様に広く知っていただくための取組を実施しました。

11～12 月

インフラツアーなどにより地域資源の魅力を発信！【地域振興局・建設事務所】

人と地域



【インフラツアー】



【毛賀沢水路橋】

南信州地域の土木施設や農業資産をより身近なものとして感じていただくためのさまざまな取組を行いました。

11 月 18 日の「土木の日」には、建設事務所と国土交通省の共催により、工事中の「(仮称) 天龍峡大橋」や、「松川ダム」、「小渋ダム」といった巨大施設を巡るインフラツアーを開催しました。

また、12 月には天竜川右岸の水田をかんがいする竜西一貫水路にある「毛賀沢水路橋」周辺の竹林伐採と案内看板の設置を地域振興局の職員が自ら行いました。看板には、昭和 38 年建設当時の貴重な写真や水路の説明がわかりやすく掲載されています。

そのほか、元気づくり支援金を活用し、西部地区（阿智村、平谷村、根羽村）と南部地区（阿南町、泰阜村）で「橋カード」を配布する取組も予定されています。

12 月

県道松川インター大鹿線「西下トンネル」が開通！【建設事務所】



人と地域



【西下トンネル開通式】

リニア中央新幹線関連工事として県道松川インター大鹿線で進めてきた 2 本のトンネル工事のうち、松川町側の「西下トンネル」(改良延長 L=980m、うちトンネル延長 L= 878m) が完成し、12 月 15 日に開通式を行いました。

平成 30 年度末には、大鹿村側の「(仮称) 四徳渡^{しとくわたり}トンネル」が供用開始されることで現道の危険箇所の解消がさらに進む予定。引き続き地域の生活道路・観光ルートとしての快適性、安全性を確保してまいります。